

## センス・オブ・ワンダー清里のつどいに参加して

日常を忘れて森にひたる二日間を頂きました。特に心にのこりました思い出をふりかえってみます。

初日は自己紹介の後、森の案内人・小西さんのガイドで子ども中心のさんぽに出かけました。若葉のすがすがしい木もれびの森を歩きます。タンポポの茎の長さをはかって、花と綿毛のときの違いにおどろいたり、木の枝の橋で展開されるシャクトリムシのサーカスに見入ったり。たがいに枝をのぼしてアーチのようにたたずむふしぎな木も見つけました。集めた枯れ枝で火をおこし、いただいたヨモギと笹の葉のお茶の味は格別でした。ちなみに、タンポポの最大の長さは84センチでした。

おいしい夕食の後、写真家・森本先生によるスライド上映と上遠先生のトークに聴き入りました。美しい写真の数々と、上遠先生が主演された映画「センス・オブ・ワンダー」撮影秘話に胸が熱くなりました。大切なメッセージをのこしてくれたカーソンがいて、それを伝えてくださった方々がいて、さらにいま、それを手わたされているわたしたちがいる。奇跡のようなつながりに思いをはせるひとときでした。同時刻に行われたキープ協会・増田さんのナイトハイクでは、シートにねころんで夜の森を味わう体験ができたとのこと、次回はぜひそちらも参加したいです。続く懇親会では、すてきなギター演奏による合唱もひびきながら、夜が更けていきました。

翌朝も散歩を楽しみ、朝食後にバスで美しの森へ向かいました。登り道は見晴らしのよい階段がつづき、地球が丸いことまで実感できるほど、はらかな眺めに感動しました。森の奥の川のほとりに、妖精のようにたたずんでいたクリンソウのかれんな姿も忘れがたいです。

子どもから大人まで、個人でも家族の参加でも、自由に自然と触れ合う楽しみを分かち合えるところに、カーソン協会の懐の深さを感じます。最後になりましたが、スタッフの皆様のご尽力と細やかなお心配りに、心からの感謝を申し上げます。 (会員H)

